

一橋大学での考察と交流

北京外国語大学学生代表

見学日時：2017年6月2日（金）14:00-18:30

見学場所：一橋大学

見学概要

6月2日の午後、第20回「走近日企・感受日本」訪日団一行は、一橋大学で約4時間半の交流を行った。一橋大学は東京都国立市にあるトップクラスの国立大学で、「アジアのハーバード」と呼ばれている。同大学はまた日本で唯一の人文及び社会学分野専門のエリート大学で、日本における難関国立大学「旧帝一工神」の一員であり、トップクラスの商業学府である他、法学、国際関係、社会学、言語学等の人文社会学分野においても高い名声を得ている。

一橋大学に到着後、まず初めに同大学の先生や学生らが私たちを連れて、長い歴史や文化的含蓄のある兼松講堂や図書館を見学した。その後私たち一行は美しい自然環境のキャンパスにて記念写真を撮影した。

見学が終わった後、私たちは学生交流会の会議室に集まり、一橋大学中国交流センターの先生から一橋大学の歴史及び現状等についてのお話を聞いた。次いで、私たちは一橋大学の学生らと日中の婚姻状況や就職状況などのテーマに関して討論を行った。討論では、時折中国と日本の学生の意見がぶつかり合うなどし、こうした思想的な交流や学習を通じて私たちはお互いに友情や友好関係を深めることができた。

夕刻の懇親会では、私たち一行は一橋大学の先生や学生らと食事をしながら交流を図った。リラックスした楽しい雰囲気の中、私たちは一橋大学の方々のぬくもりと親切さを感じることができた。

なぜですか？

問：一橋大学の外国人留学生における中国人留学生の比率はどのくらいですか？

答：一橋大学は日本で唯一の人文・社会学専門のエリート大学で、非常に人気がある。同大学では中国人留学生の比率は半数近くとなっている。

分析：

1. 一橋大学は世界でも名高いトップクラスの国立大学で、学術的雰囲気も素晴らしく、人材を多く輩出している。
2. 一橋大学は日本でもトップクラスの商業学府であり、商学ランキングでは長年日本一の地位にある。また法学、国際関係、社会学、言語学等の人文社会学分野における実力もまた日本で三本の指に入っている。
3. 少人数制のエリート教育、10名前後、ゼミナール方式。



感想

一橋大学を訪れる前、すでに日本で留学をしている先輩が冗談で、毎週一橋大学のイケメンを見て目の保養をしていると言っていた。そして今回一橋大学を見学した後、先輩の話は完全に冗談というわけではないと思った。一橋大学の学生らは確かに顔立ちも良く、自分の考えをしっかりとっていて、思考も活発であったし、勿論女子学生も皆とても優秀であった。

一橋大学の学生らと日中の婚姻状況や就職状況について討論を始める前、皆は討論の際に誰も発言をしないなど気まずい雰囲気になることを心配していたが、討論の際、一橋大



学の女子学生が事前に8つの問題を準備していて、皆に問題の順番に沿って討論をするように段取りをした。また彼女は、発表時の総括がしやすいように皆の討論内容のキーワードをまとめていたが、こうした些細なところに彼らの周到さや優れた組織能力が表れていた。またこれも私たちと彼らとの差であり、彼らに学ぶべきところだと思った。